

## 2024年度 東京芸術文化鑑賞サポート助成 実績報告

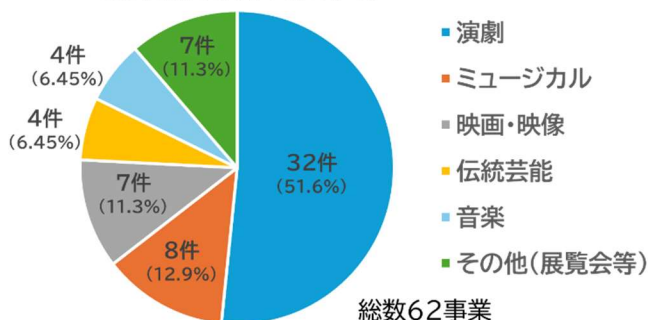
### 初年度は62事業で実施！アクセシビリティ向上の取組が広がっています！

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、2025年秋に開催される世界陸上・デフリンピックに向けて、誰もが芸術文化に触れることができる共生社会の実現を目指し、今年度から「東京芸術文化鑑賞サポート助成」を開始しました。本助成では、民間団体等によるアクセシビリティ向上を目的とした取組に要する経費について、150万円を上限に全額助成しています。

#### ▶ 2024年度の実績

令和6(2024)年度は47団体、62事業(公演等)で実施しました。音声ガイドなどの聴覚情報支援のほか、バリアフリー字幕や手話通訳による視覚情報支援、点字プログラムや触れる模型、舞台の事前説明会など、鑑賞体験を豊かにする様々なサポートが導入されました。

分野別採択事業数(%)



<鑑賞サポート事例:ミュージカル『燃ゆる暗闇にて』舞台事前説明会>

分野別では演劇が最多で32事業、ついでミュージカルの8事業となっており、そのほか伝統芸能、音楽、映画・映像など様々なジャンルの事業が実施されました。次頁以降で下記の公演における取組の状況や鑑賞サポートを利用された方々の声をご紹介します。

- 座・高円寺『夏の夜の夢』『小さな王子さま』(P2)
- 劇団青年座『諸国を遍歴する二人の騎士の物語』(P3)
- エイベックス・ライブ・クリエイティヴ株式会社 ミュージカル『燃ゆる暗闇にて』(P3)
- ホリプロ ミュージカル『ラブ・ネバー・ダイ』(P4)

#### — 世界陸上・デフリンピックを契機としたアクセシビリティ向上の推進を —

東京都生活文化スポーツ局文化振興部企画調整課文化プログラム担当課長 佐原 香織 コメント

これまで、都立文化施設や都の文化事業において、鑑賞を支援するツールの導入や鑑賞サポート付きプログラムを拡充するなど、誰もが芸術文化を楽しめるための環境整備を進めてきました。こうした鑑賞サポートの取組を、資金とノウハウの不足が課題となっていた民間団体にも広げるため創設したのが「東京芸術文化鑑賞サポート助成」です。

今年度は47団体の62事業でご活用いただき、実施団体、鑑賞サポート利用者の双方からお寄せいただいた声にご答えを感じています。今年度は5月末に募集を開始しましたが、半年も経たないうちに予算上限に到達し申請受付を終了したことから、芸術文化団体等からの関心の高さが伺えました。

東京都は、2025年秋に開催される世界陸上・デフリンピックに向けて「芸術文化へのアクセシビリティ向上」に取り組んでいます。大会を契機に、鑑賞サポート付きの展覧会・公演等がより多く開催され、アクセシビリティ向上の取組が一層充実するよう、2025年度は本助成制度を拡充していきます。誰もが芸術文化に触れることができる共生社会の実現につなげていきたいと考えています。

<本件に関する問合せ>

生活文化スポーツ局文化振興部企画調整課 佐原、田中 電話 03-5000-5639

東京都歴史文化財団 PR 事務局(株式会社オズマピーアール内 福田・猪又・奥秋・岩垂)

電話 猪又(080-9368-5459) 奥秋(070-3601-4246) E-mail: rekibun-pr@ozma.co.jp

## — 問題意識を拡げ、誰もが芸術文化に触れられる社会へ —

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
活動支援部支援デザイン担当課長

いしわた ゆうこ  
石綿 祐子 コメント

鑑賞サポートの導入について、現場からは「何から始めていいのかわからない」という声はまだ多くあります。また、鑑賞サポートが必要な方のお席を確保しても、誘客できなかった場合、団体側としては興行的にマイナスになってしまうなど、動員の予測や、情報を必要とされる方へしっかり届けていく広報等、現場では様々な課題があります。

この助成では、団体の問題意識や鑑賞サポートの拡がりを目指すため、申請団体の皆さまに助成申請する際に「鑑賞サポート入門」講座の動画の受講を必須とし、ノウハウを提供しています。また、広報についても団体の協力を得て情報発信していますが、今後、関係団体等の協力も得てさらに積極的に行っていきたいと思っております。今回の助成は、150万円を上限に費用を全額助成するため、試行としても、ぜひ最大限活用いただきたいと思っています。

そのうえで我々としては、今後も助成制度自体を現場のニーズに合わせ、もっと使いやすく、新しいチャレンジがしやすいものとしていければと思います。鑑賞サポート導入の事例が増えることで、先行事例を知るきっかけとなり、さらに新たな団体からの申請が促進される。その結果、当事者の方が受けられる鑑賞サポートの選択肢が拡大していく。そのように、誰もが芸術文化に触れられる社会への一助になる助成にしたいと考えています。

### ▶ 東京芸術文化鑑賞サポート助成を活用した取組

座・高円寺 『夏の夜の夢』『小さな王子さま』 2024年8月31日(土)~10月12日(土)上演

鑑賞サポート:字幕タブレット貸出、上演台本の事前貸出、受付手話対応、  
アフタートーク手話通訳、手話字幕の監修

### 【NPO 法人劇場創造ネットワーク 座・高円寺 <sup>いずみ まさあき</sup> 和泉 将朗さんコメント】

#### ◆鑑賞サポート導入の背景

ろう者の俳優がオーディションで出演することになったことがきっかけです。ろう者の観客が多く見込まれ、その方たちにも同じように芝居を楽しんでもらいたかったからです。

#### ◆利用者からの声

「字幕表示を使っている人がかなりいて良かった」「自分の観たい席で観劇できた」等、利用者の方からは字幕サポートが好評でした。

#### ◆鑑賞サポートの向上に向けて

一度だけ本番中に Wi-Fi が落ちて字幕が出ない時間があり、いざという時の対応についてスタッフ間で事前に共有しておくべきと反省が残りました。チケットに残りがあっても、字幕タブレット予約が先に埋ってしまい観劇を諦めた方もいました。タブレットを借りられる数に限りがあったので、次回は舞台手話通訳などより多くの方に楽しんでいただける方法を取り入れたいです。

また、受付で手話通訳さんが対応をしている時に、手話を少し覚えた劇場職員が次に並んでいるろう者の方に話しかけましたが、たどたどしい手話では接客的に至らない対応になってしまったと感じる場面もありました。サインボードや筆談ボードも用意しコミュニケーションに努めました。今後は通訳さんだけでなく、受付周りの事がわかるろう者の方と一緒に、字幕タブレットの貸出対応等をやっていく方法もあると思いました。



撮影：梁添祐



<本件に関する問合せ>

生活文化スポーツ局文化振興部企画調整課 佐原、田中 電話 03-5000-5639

東京都歴史文化財団 PR 事務局(株式会社オズマピーアール内 福田・猪又・奥秋・岩垂)

電話 猪又(080-9368-5459) 奥秋(070-3601-4246) E-mail: rekibun-pr@ozma.co.jp

鑑賞サポート:音声ガイド、字幕タブレット、介助者謝金、台本事前貸出、受付での筆談対応、  
車椅子対応、舞台事前説明会、触れる舞台模型

### 【有限会社劇団青年座 <sup>あべ ふうみ</sup>阿部 史さんコメント】

#### ◆鑑賞サポート導入の背景

新劇の観客層の高齢化に伴い、2020年に劇団内でバリアフリー委員会を組織し、あらゆる人にとって鑑賞可能な環境作りに取り組んでいます。年々鑑賞サポートを拡充する中で、経費増加の課題や取組を知ってもらうことの難しさも感じていました。採択していただくことで、鑑賞サポートに取り組む演劇創造団体として広く知っていただく契機になればという思いもあり助成の活用を考えました。

#### ◆利用者からの声

舞台事前説明会実施の際には、劇団員の積極的な参加があり充実した説明会になりました。利用者の方からも「観劇後の感想や理解度がより楽しく深まった」との感想をいただきました。

#### ◆触れる舞台模型について

舞台模型は、開演前のロビーに準備しています。視覚障害のある方が、物語の設定や状況の説明を聞くのに加えて、実際に舞台模型を触って上演作品のイメージを掴んでもらうために導入しており、「触るとイメージが膨らむ」との声は多くいただいています。



『諸国を遍歴する二人の騎士の物語』(2024) 撮影:坂本正輝



舞台事前説明会の様子

鑑賞サポート:手話通訳、字幕サポート、音声ガイド、舞台事前説明会、台本タブレット貸出

### 【エイバックス・ライブ・クリエイティブ株式会社(ALC) 制作事業本部

#### シアター制作グループ 第2プロデュースユニット <sup>いけなが さとこ</sup>池永 聡子さんコメント】

#### ◆鑑賞サポート導入の背景

以前よりサポート公演に挑戦したい気持ちがあり、常にサポート関連の情報収集にアンテナを張っていたところ、HPで情報を見かけました。

盲学校を舞台にしている作品でしたので、作品との親和性もあり、助成を申請しました。

#### ◆利用者からの声

カンパニー内は、キャスト、スタッフ共にとても前向きに捉えてもらえました。手話通訳台の設置、そして字幕・音声ガイドの作業場など環境面では劇場さんにも多大なる協力をいただき、利用者の方からは「開演前の事前説明会で、どんなセットがあるか説明を受けていたので、公演中はより一層、舞台上のどこでどの役者が動いているかが分かり、楽しみが倍増した」というお声もいただきました。

#### ◆鑑賞サポートの向上に向けて

サポートを必要とされている方への配慮はもちろん、一般のお客様への配慮という意味でも、対象の方の席位置を固めて配席するようにいたしました。サポート席への移動は「見やすさ」を軸にご説明しましたが、自席で観たいという方も一定数いらっしゃったので、その際は前後左右のお客様へ、タブレット使用の意図などを丁寧に説明いたしました。



舞台事前説明会の様子



手話通訳の様子

<本件に関する問合せ>

生活文化スポーツ局文化振興部企画調整課 佐原、田中 電話 03-5000-5639

東京都歴史文化財団 PR 事務局(株式会社オズマピーアール内 福田・猪又・奥秋・岩垂)

電話 猪又(080-9368-5459) 奥秋(070-3601-4246) E-mail: rekibun-pr@ozma.co.jp



鑑賞サポート:音声ガイド、字幕タブレット、駅からの誘導、台本事前貸出、車椅子席の設置

## 【株式会社ホリプロ ファクトリー部 <sup>ひなつ ゆき</sup> 船津 由紀さんコメント】

### ◆鑑賞サポート導入の背景

英国の劇場でリラックスパフォーマンスという上演回があることを知り、誰もが楽しむことのできる環境をつくるという考え方に感銘を受け、2023年に『ジョン王』でリラックスパフォーマンスを実施しました。その際に、必要なサポートがないためにこれまで鑑賞を諦めてしまっていたというお客様の声を直接お聞きしたことで、他の作品にも取組を広げていきたいと思いました。そんな中助成の存在を知り、より質の高い鑑賞サポートを目指すことができると考えて申請を決めました。

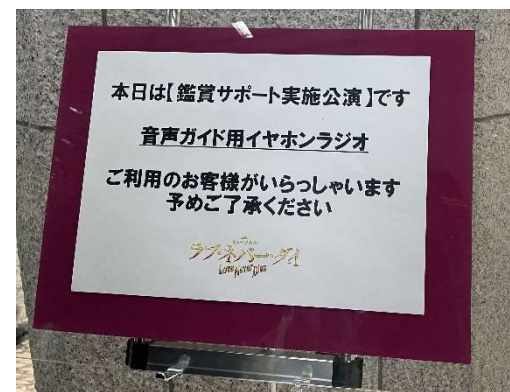


### ◆利用者からの声

音声ガイドを提供した際、ご利用いただいた方から「これまではストーリーが十分に理解できないまま作品を楽しんでいたが、音声ガイドのおかげで情景が浮かび、初めて作品そのものを味わうことができた気がする」というお声をいただきました。

### ◆鑑賞サポートの向上に向けて

より多くの方に弊社の公演を楽しんでいただきたいと考えています。多様なお客様と一緒に楽しめる環境をつくるためには、作品づくりの段階から検討をしていく必要がありますが、費用面、人材面の不足など今後検討すべき課題もあると認識しています。



## ▶ 2024年度 東京芸術文化鑑賞サポート助成 制度の概要

### ■対象事業

#### (1)対象団体

東京都内に本部事務所や本店所在地が存在する芸術団体、民間団体、実行委員会、劇場・ホール等

#### (2)対象となる分野

東京都内で実施される以下の分野の公演や展覧会、ワークショップなど、一般観客に公開されているもの  
音楽・演劇・舞踊・美術・写真・メディア芸術(映像・映画、マンガ、アニメ、ゲームなど)・伝統芸能・芸能・生活文化(茶道、華道、書道など)・特定のジャンルにとらわれない芸術活動(複合)等

#### (3)対象となる事業の実施期間

2024年7月16日以降に開始し、2025年6月30日までに終了する事業

#### (4)アクセシビリティ講座2024「鑑賞サポート入門」の受講

申請事業の制作担当者(鑑賞サポート担当含む)が、東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」のアクセシビリティ講座2024「鑑賞サポート入門」を受講していること

○東京芸術文化鑑賞サポート助成 ウェブサイト  
<https://act-kansho.support/>



○アートノト ウェブサイト  
<https://artnoto.jp/>



<本件に関する問合せ>

生活文化スポーツ局文化振興部企画調整課 佐原、田中 電話 03-5000-5639

東京都歴史文化財団 PR 事務局(株式会社オズマピーアール内 福田・猪又・奥秋・岩垂)

電話 猪又(080-9368-5459) 奥秋(070-3601-4246) E-mail: [rekibun-pr@ozma.co.jp](mailto:rekibun-pr@ozma.co.jp)

## ■支援内容

鑑賞サポートにかかる費用について、150万円を上限として実費を支援(助成率10/10)

### 【対象経費】

手話通訳関連経費、バリアフリー日本語字幕、音声認識アプリの活用を含めたリアルタイム字幕、音声案内、コミュニケーション支援となるアプリ開発等、点字サイン、点字パンフレット、タブレット等バリアフリー対応機器レンタル費、専門スタッフ・アドバイザー費等

## ■団体・事業一覧

※本一覧の掲載内容は採択決定時の情報です。

団体名	事業名	サポート内容
株式会社こまつ座	こまつ座第 151 回公演『芭蕉通夜舟』	機器による視覚情報支援、手話、舞台説明会、機器による聴覚情報支援、他
	こまつ座第 152 回公演『太鼓たたいて笛ふいて』	
	こまつ座第 153 回公演『フロイス-その死、書き残さず-』	
タカハ劇団	タカハ劇団「死体を待ちながら」	機器による視覚情報支援、手話、舞台説明会、印刷物・ウェブサイト等対応、機器による聴覚情報支援、他
SP/ACE=project	Casual Meets Shakespeare『MACBETH SC』	機器による視覚情報支援、手話、他
ピンク・リパティ	ピンク・リパティ「みわこまとめ」	機器による視覚情報支援、手話、他
尾上右近事務所	第八回『研の會』	機器による視覚情報支援、手話、機器による聴覚情報支援、他
株式会社サイ	オデュッセイア	触察・触知図・点字、舞台説明会、多言語対応
ギャラクシティ指定管理者みらい創造堂 代表企業ヤオキン商事株式会社	浅野温子よみ語り公演「ほくのタイムスリップものがたり」～てえへんだ！江戸時代の千住宿に迷いこんじゃった～	機器による視覚情報支援、手話、機器による聴覚情報支援
株式会社オフィス鹿	オフィス鹿×海外児童文学シリーズ Vol.1 「さよなら、スパイダーマン」	機器による視覚情報支援、手話、舞台説明会、多言語対応
ものがたりグループ☆ボランの会	手話と音楽と語りで緩なすライブセッション ～すきとおったほんとうのたべもの～ 2024	機器による視覚情報支援、手話、触察・触知図・点字、印刷物・ウェブサイト等対応、機器による聴覚情報支援、他
	『手話を音声ガイドで伝えるプロジェクト』の上映	
株式会社ケイミックスパブリックビジネス	西東京ゆかりのアーティストコンサート ウインドアンサンブル和のインクルーシブコンサート	機器による視覚情報支援、機器による聴覚情報支援
有限会社想起	スーパーパントマイムシアター-SOUKI 2024 「銀河鉄道の夜」	印刷物・ウェブサイト等対応、機器による聴覚情報支援
ももちの世界	ももちの世界 #10『日曜日のクジラ』	機器による視覚情報支援、舞台説明会
特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク	劇場へいこう！『夏の夜の夢』	機器による視覚情報支援、手話、他
スペースノットブランク	光の中のアリス	手話、多言語対応
有限会社桜企画	ヨーデル北川桜とエーデルワイスムジカンテン 爽やかな風♪ヨーデルコンサート	機器による視覚情報支援、舞台説明会、機器による聴覚情報支援、多言語対応
	ヨーデル北川桜とエーデルワイスムジカンテン お寺でヨーデルコンサート♪永福寺 Vol3	
エイバックス・ライブ・クリエイティブ株式会社	ミュージカル『燃ゆる暗闇にて』	機器による視覚情報支援、手話、点字、舞台説明会、他
株式会社劇団民藝	劇団民藝公演『ミツパチとさくら』	触察、点字、舞台説明会、機器による聴覚情報支援、他
	劇団民藝公演『囲われた空』	
	劇団民藝公演『八月の鯨』	
有限会社劇団青年座	劇団青年座第 258 回公演 『諸国を遍歴する二人の騎士の物語』	機器による視覚情報支援、触察、舞台説明会、機器による聴覚情報支援、他
	劇団青年座第 261 回公演『同盟通信』	
mina.te.mari(ミナテマリ)	めでみることばで詩を叫べ～サイン・ポエトリー(手話による詩の朗読)映画上映会	手話
キ上の空論	人骨のやらかい	機器による視覚情報支援、手話
株式会社研音	ミュージカル『9to5』	機器による視覚情報支援
一般財団法人八島花文化財団	すみだ向島 EXPO2024(来場者への展示案内方法の拡充)	手話、機器による聴覚情報支援、多言語対応、他
	すみだ向島 EXPO2024(ろう者・多言語鑑賞ツアー)	
株式会社ヒューマンデザイン	音楽座ミュージカル『ホーム』	機器による視覚情報支援、多言語対応
株式会社ホリプロ	ミュージカル『ピリー・エリオット～リトル・ダンサー～』	機器による視覚情報支援、機器による聴覚情報支援
	ミュージカル『ラブ・ネバー・ダイ』	

<本件に関する問合せ>

生活文化スポーツ局文化振興部企画調整課 佐原、田中 電話 03-5000-5639

東京都歴史文化財団 PR 事務局(株式会社オズマピーアール内 福田・猪又・奥秋・岩垂)

電話 猪又(080-9368-5459) 奥秋(070-3601-4246) E-mail: rekibun-pr@ozma.co.jp

団体名	事業名	サポート内容
株式会社東急文化村	Bunkamura Production 2024『台風 23 号』	機器による視覚情報支援
	『渋谷能』第三夜 金剛流	機器による視覚情報支援、多言語対応
ザ・プレイボーイズ	『パラレルワールドより愛をこめて』『パラレルワールドでも恋におちて』	機器による視覚情報支援、手話
お布団	『アンティゴネアノニマス-サブスタンス/浄化する帝国』	機器による視覚情報支援
	お布団の新作演劇公演『XXXX(王国を脅かした悪霊の名前)』	
有限会社劇団俳優座	劇団俳優座本公演『慟哭のリア』	舞台説明会、機器による聴覚情報支
株式会社イン・ナッブ	劇場用映画「海の沈黙」上映	機器による視覚情報支援、機器による聴覚情報支援
一般社団法人松の会	第37回檀の会	機器による視覚情報支援、多言語対応
有限会社グッドフェローズ	燐光群『沖縄戦と琉球泡盛』	機器による視覚情報支援、印刷物・ウェブサイト等、機器による聴覚情報支援
株式会社 二兎社	二兎社公演 48「こんばんは、父さん」	触地図、触れる模型、点字等、機器による聴覚情報支援等
東宝株式会社	CONCERT THE BEST	機器による視覚情報支援
株式会社 momocan	「見上げんな」	機器による視覚情報支援等
株式会社 ation	贅沢貧乏『おわるのをまっている』初演	印刷物・ウェブサイト等、機器による聴覚情報支援、多言語対応等、触地図、触れる模型、点字等
NPO 法人コモンビート	ミュージカル「A COMMON BEAT」第62期東京公演	機器による視覚情報支援、手話、機器による聴覚情報支援
株式会社 CULEN	舞台「ヴェニス商人」	機器による視覚情報支援
松竹株式会社	新春浅草歌舞伎	機器による視覚情報支援、機器による聴覚情報支援、多言語対応
学校法人桜美林学園	参加型音楽劇「あらしのよるに」	手話等
	影絵になってアフリカドラマのリズムで、みんなでおどろう！	
株式会社 precog	街をよむ、手紙をあるく(仮)	機器による視覚情報支援、手話、舞台説明会、事前説明会等、機器による聴覚情報支援等
株式会社フジテレビジョン	ミュージカル『SIX』日本キャスト版公演	機器による視覚情報支援、手話
義庵	義庵 5th ACT「リチャード三世」	器による視覚情報支援
特定非営利活動法人 アーツイニシアティヴトウキョウ	新たな鑑賞の楽しみ方を見つける、アートと心のインスピレーション・プログラム	手話、印刷物・ウェブサイト等
特定非営利活動法人 劇団印象 indian elephant	第 32 回公演『女性映画監督第一号』	機器による視覚情報支援、機器による聴覚情報支援
滋企画	滋企画『ガラスの動物園』	機器による視覚情報支援、手話、舞台説明会、事前説明会等、印刷物・ウェブサイト等
合同会社 Chupki	①2025年2月『Viva Niki タロット・ガーデンへの道』、『大きな家』ユニバーサル上映 ②2025年3月『春をかさねて』&『あなたの瞳に話せたら』2本立てユニバーサル上映 ③2025年4月『風が吹くとき』ユニバーサル上映 ④2025年5月『港に灯がともる』、『お坊さまと鉄砲』ユニバーサル上映	機器による視覚情報支援、手話、機器による聴覚情報支援
株式会社アミューズクリエイティブスタジオ	ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」	機器による視覚情報支援、手話、触地図、触れる模型、点字等

助成対象事業の詳細は、アーツカウンシル東京のホームページよりご覧ください。

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/what-we-do/support/grants/grant-for-accessibility/66959/>



2025(令和7)年度は予算を増額し、制度の拡充を予定しています。募集についての詳細が決まり次第ご案内しますので、芸術文化団体の皆さま、積極的にご活用ください。

また、実施事業が決定次第、鑑賞サポート付きの公演や展覧会等の詳細を「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」のウェブサイトにて公表しますので、是非お楽しみください。

本件は、『未来の東京』戦略を推進する事業です。戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略  
本事業は東京文化戦略2030のプロジェクト「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」の一環です。

<本件に関する問合せ>

生活文化スポーツ局文化振興部企画調整課 佐原、田中 電話 03-5000-5639

東京都歴史文化財団 PR 事務局(株式会社オズマビル内 福田・猪又・奥秋・岩垂)

電話 猪又(080-9368-5459) 奥秋(070-3601-4246) E-mail: rekibun-pr@ozma.co.jp